

「最近の機械貿易動向(11月)～機械輸出額25ヶ月連続対前年同月比減少～」

日本機械輸出組合 2021.1.25

・2020年11月の機械輸出額は3兆9,349億円、対前年同月比3.0%減と、25ヶ月連続で対前年同月比減少し、リーマンショック以降で対前年同月を下回った最長期間を更新している。為替・営業日要因が6.6%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は3.9%増となった。1月21日発表の貿易統計速報による簡易計算では、2020年12月の機械輸出は0.9%増であった。

・機械輸出の対前年同月比の減少幅であるが、6月から継続して縮小していたが、11月に拡大に転じた。対前年同月比で増加した米国向け輸出も0.04%の微増にとどまり、他の5地域向けの輸出が対前年同月比で減少している。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆1,137億円(対前年同月比 [以下同じ] 4.2%減、24ヶ月連続対前年同月比減少、リーマンショック以降で対前年同月を下回った期間が最長)
- ② 全商品輸入額:5兆7,475億円(11.1%減、19ヶ月連続対前年同月比減少)
- ③ 貿易収支:3,661億円の黒字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:3兆9,349億円(3.0%減、25ヶ月連続対前年同月比減少、リーマンショック以降で対前年同月を下回った期間が最長)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:3.9%増
- ② 機械輸入額:2兆1,488億円(3.1%増、14ヶ月ぶりに対前年同月比増加)

(2) 為替・営業日動向

2020年11月に6.6%の減少要因、12月に1.9%の減少要因、2021年1月に7.8%の増加要因。
(2021年1月の為替要因は1月22日の東京市場のレートにより、仮計算)

(3) 地域別動向

- ① 北米向けを除く5地域向けで対前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:0.04%増、3ヶ月連続対前年同月比増加(図表4、5)
- ③ EU27向け:3.9%減、14ヶ月連続対前年同月比減少(図表4、5)
- ④ 中国向け:0.6%減、5ヶ月ぶりに対前年同月比減少(図表4、5)
- ⑤ 韓国・台湾向け:2.2%減、3ヶ月ぶりに対前年同月比減少(図表4、5、6、7)
- ⑥ ASEAN・南アジア向け:11.2%減、23ヶ月連続対前年同月比減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑦ その他地域向け:2.6%減、10ヶ月連続対前年同月比減少(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中自動車等8業種が対前年同月比増加。

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 建設機械(北米、EU、その他地域向け中心)、産業用ロボット(中国、北米、EU向け中心)、原動力機械(北米、ASEAN・南アジア向け中心)、産業車両(その他地域、ASEAN・南アジア向け中心)、通信機械部分品(中国向け中心)、電動機(北米、中国向け中心、4ヶ月連続上位)等が大きく増加
- ② 鉄道車両、航空機部品、繊維機械、工作機械等が対前年同月比で大きく減少

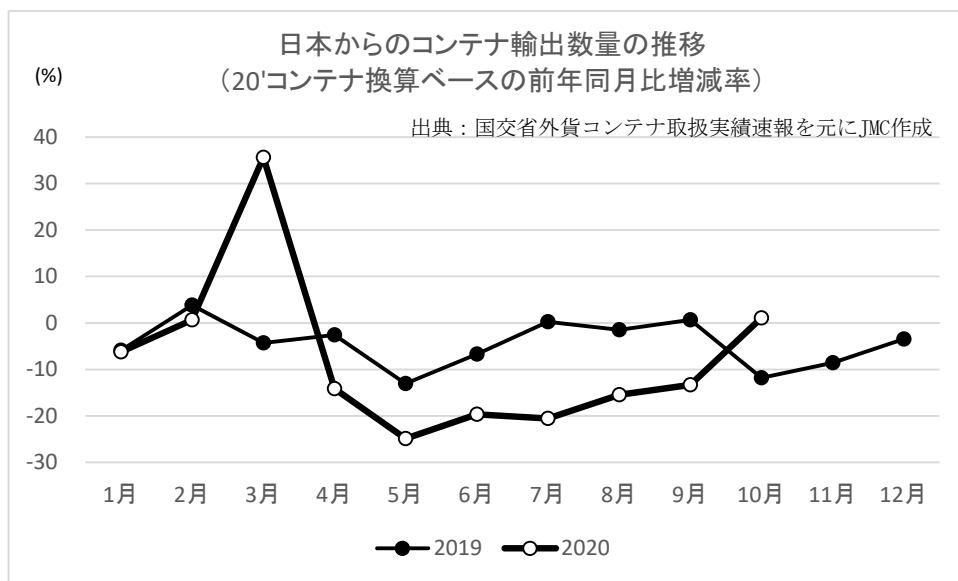
(6) 機械輸入動向(図表14)

機械輸入額上位12機種のうち、携帯電話、電子計算機、電子デバイス等9機種が対前年同月比で増加

II トピックス

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今年1月から5月にかけては、世界的なコンテナ貨物の荷動きが落ち込み、船会社も貨物便の本数を削減した。併せて、欧米各国の港湾における新型コロナウイルス感染症に起因する荷役労働者の不足から港湾・物流オペレーションが低下した。このことにより、コンテナの多くが欧米に滞留してアジアに戻されずに欧米-アジア間の空コンテナ数量のバランスが崩れることとなり、アジア域内における輸出用空コンテナの数量不足を招く結果となった。

一方、6月以降は、各国での日用品の需要が回復し、欧米の小売業等が在庫確保に動いたことと、3月以降に新型コロナウイルスの感染を抑え込んだ中国での生産が回復したことを受け、アジア発欧米向け航路が中心となって徐々に荷動きが回復し始めた。



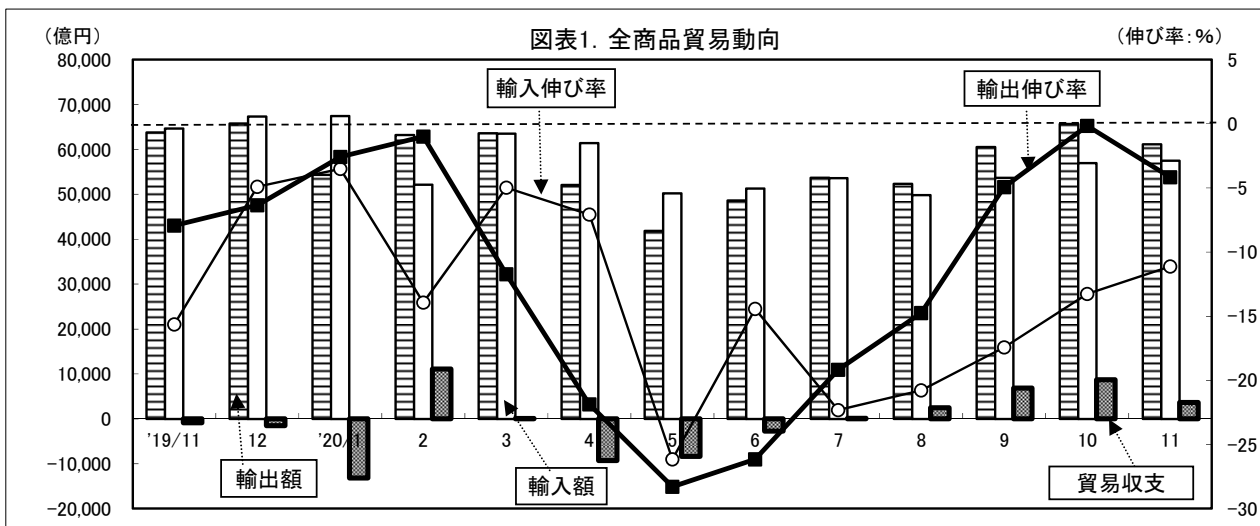
*上記実績で2020年3月のコンテナ輸出数量が大きく増加しているのは、中国における需要の回復による、中国向け輸出の急激な増加によるもの

このような状況下、一部外国船社は、高い割増料金を払う中国荷主の貨物に優先的にコンテナ及び船のスペースを割り当てたため、海上運賃(スポットレート)は通常運賃の2~3倍上昇している他、中国からの輸出用に日本の空コンテナを中国に回漕したことで、日本の荷主企業が船積みできないとの事態も発生しており、輸出にも影響が出ているものと思われる。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は24ヶ月連続、輸入は19ヶ月連続で対前年同月比減少～

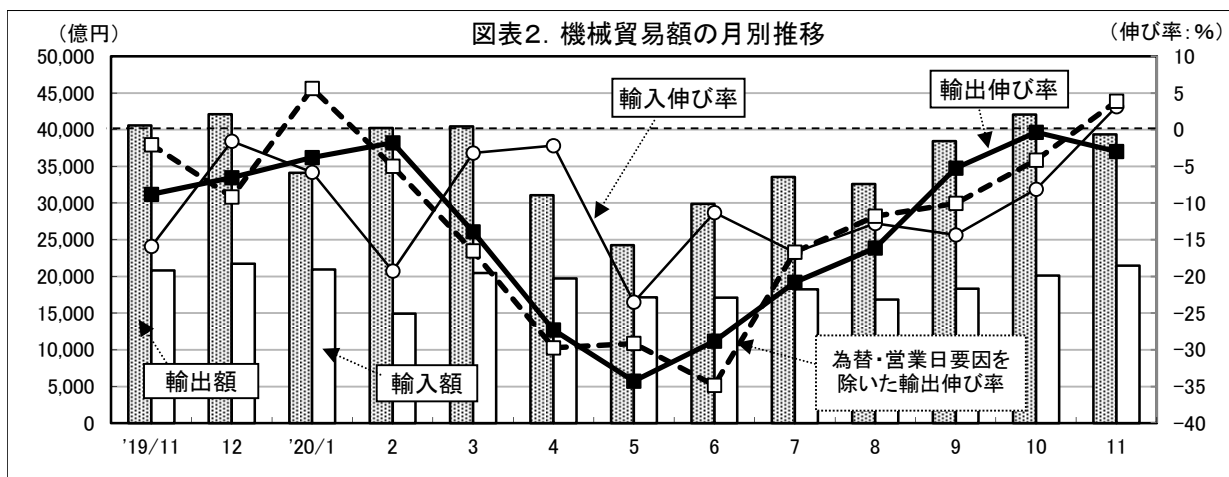
- 1) 2020年11月の全商品輸出額は**6兆1,137億円**、前年同月比(以下同じ)**4.2%減**と24ヶ月連続で対前年同月比減少した(10月0.2%減)。これは、約19%を占める電気機器(1.0%増)や約12%を占めるプラスチック等化学製品(5.5%増)が増加したものの、約23%を占める自動車等輸送用機器(4.5%減)をはじめ、約19%の一般機械(3.0%減)、約10%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(10.6%減)等が減少したためである。
- 2) 輸入額は**5兆7,475億円**、**11.1%減**と19ヶ月連続で対前年同月比減少した(10月13.3%減)。これは、全輸入額の約21%を占める電気機器(15.0%増)が増加したものの、約14%の原油等鉱物性燃料(40.2%減)、約11%の医薬品等化学製品(9.2%減)や約10%の一般機械(1.8%減)、約9%の原料別製品(8.2%減)等が減少したことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、5ヶ月連続で黒字(3,661億円、10月は8,717億円の黒字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は25ヶ月連続で前年同月比減少、輸入は14ヶ月ぶりに対前年同月比増加～

- 1) 全商品輸出額の約64%を占める11月の機械輸出額は**3兆9,349億円**、**3.0%減**と25ヶ月連続で対前年同月比減少した(10月0.3%減)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は3.9%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約37%を占める機械輸入額は、**2兆1,488億円**、**3.1%増**と14ヶ月ぶりに対前年同月比増加した(10月8.1%減)。

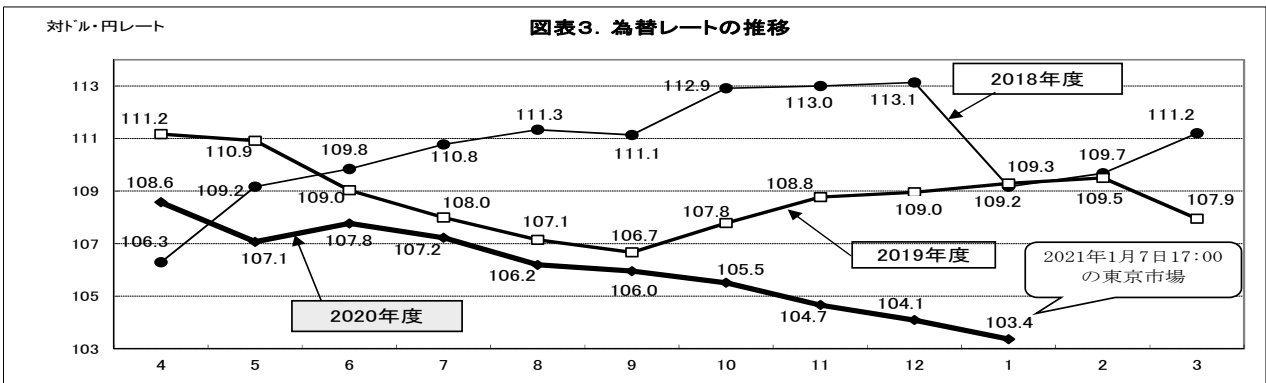


(2) 為替・営業日動向～11月は6.6%の減少要因、12月は1.9%の減少要因～

1) 2020年11月は1ドル=104.7円となり、前年に比べ3.8%の円高となった。また、対ユーロは123.3円と前年に対して2.3%の円安となり、合わせて約1.7%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日少ないため、約5.0%の減少要因となり、合わせて約6.6%の減少要因となる。11月の輸出額は3.0%減であったことから、実質的伸び率は3.9%増と10ヶ月ぶりに前年同月比増加となった(10月4.1%減)。

2) 2020年12月は1ドル=104.1円で前年比4.5%の円高、対ユーロは125.1円で前年比3.8%の円安となり、合わせて約1.9%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約1.9%の減少要因となる。

3) 2021年1月は、対ドルが1月22日17:00時点の103.7円とすれば、前年比5.1%の円高、また、対ユーロは126.0円で3.5%の円安となり、合わせて約2.3%の為替減少要因となる。営業日は前年と同じであるが、中華圏における春節の影響を考慮すると、約10.3%の増加要因となり、合計で約7.8%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～微増した北米向けを除き、他の5地域向けで前年同月比減少～

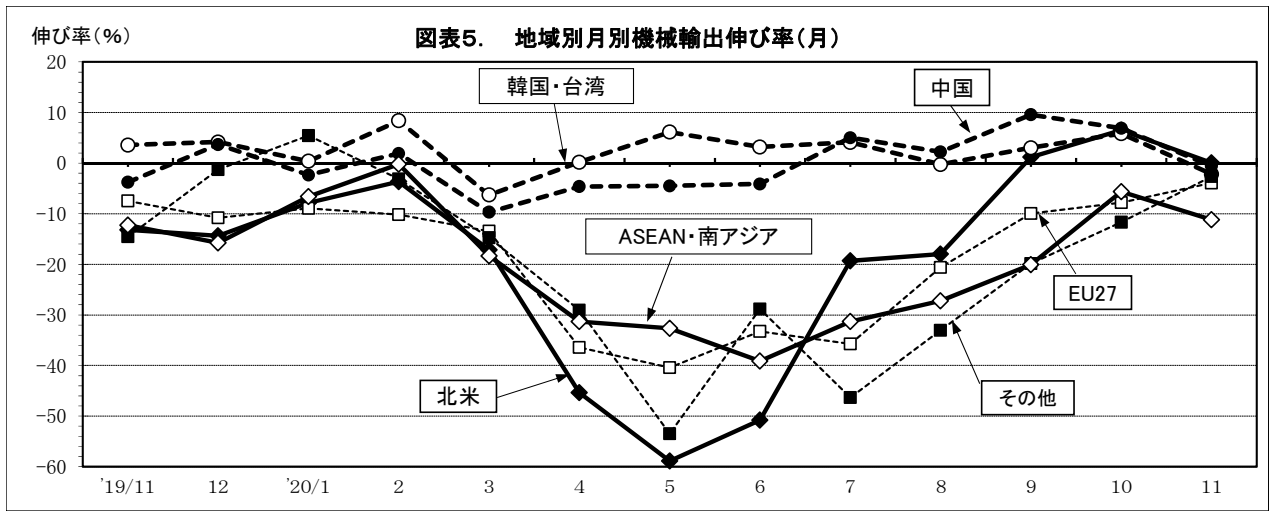
機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の25.4%を占める北米向けでは、産業機械(5.6%減)、航空機部品(37.4%減)等が減少したものの、54%を占める自動車(6.5%増)、電池等軽電気機械(12.5%増)等が増加し、0.04%の微増となった。②10.0%を占めるEU(英国を除く27ヶ国)向けは、産業機械(8.5%増)、白物家電・電池等軽電気機械(10.8%増)等が増加したものの、36%を占める自動車(14.4%減)、理化学用機器等軽機械(4.5%減)等が減少して3.9%の減少となり、③24.1%を占める中国向けでは、23%を占める産業機械(0.8%増)、20%を占める自動車(3.1%増)、9%の配電機器等軽電気機械(9.6%増)等が増加したものの、13%を占める電子デバイス(18.5%減)等が大きく減少して0.6%減となった。④10.2%を占める韓国・台湾向けは、電子デバイス(6.3%増)、電気・電子計測器等軽電気機械(6.4%増)等が増加したものの、産業機械(4.3%減)、自動車(20.3%減)が減少して2.2%減となり、⑤13.7%のASEAN・南アジア向けは、マレーシア(7.0%増)、パキスタン(76.1%増)が増加したものの、インドネシア(36.5%減)、フィリピン(22.7%減)、インド(14.5%減)等が二桁の減少となり、業種でも電子デバイス(10.9%増)が増加したものの、産業機械(1.6%減)、自動車(21.3%減)等が減少して11.2%減となった。⑥14.8%のその他地域向けでは、大洋州(12.7%増)向け等が増加したものの、中近東(13.6%減)、アフリカ(9.0%減)向け等が減少し、業種でも船舶(24.0%増)が増加したものの、64%を占める自動車(6.3%減)、産業機械(4.0%減)等が減少して2.6%の減少となった。⑦11月は、微増した北米向けを除いた5地域全てにおいて、対前年同月比で輸出額が減少し、機械輸出全体でも3.0%減と対前年同月比の減少幅が拡大した(10月は0.3%減)。全体的に10月に比べて輸出環境の改善がストップした。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円、%)

	2020/9			2020/10			2020/11		
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア
全世界計	38,453	▲ 5.2	100.0	42,073	▲ 0.3	100.0	39,349	▲ 3.0	100.0
北米	9,749	1.2	25.4	10,899	6.5	25.9	10,005	0.04	25.4
EU (英国を除くEU27)	3,953	▲ 10.0	10.3	4,122	▲ 7.8	9.8	3,948	▲ 3.9	10.0
英国	523	▲ 18.2	1.4	573	▲ 21.0	1.4	654	▲ 9.6	1.7
中国	9,513	9.6	24.7	10,087	6.9	24.0	9,489	▲ 0.6	24.1
韓国・台湾	4,134	3.0	10.8	4,209	5.8	10.0	4,032	▲ 2.2	10.2
ASEAN・南アジア	5,103	▲ 20.0	13.3	5,814	▲ 5.6	13.8	5,381	▲ 11.2	13.7
その他	5,478	▲ 19.9	14.2	6,369	▲ 11.7	15.1	5,840	▲ 2.6	14.8

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

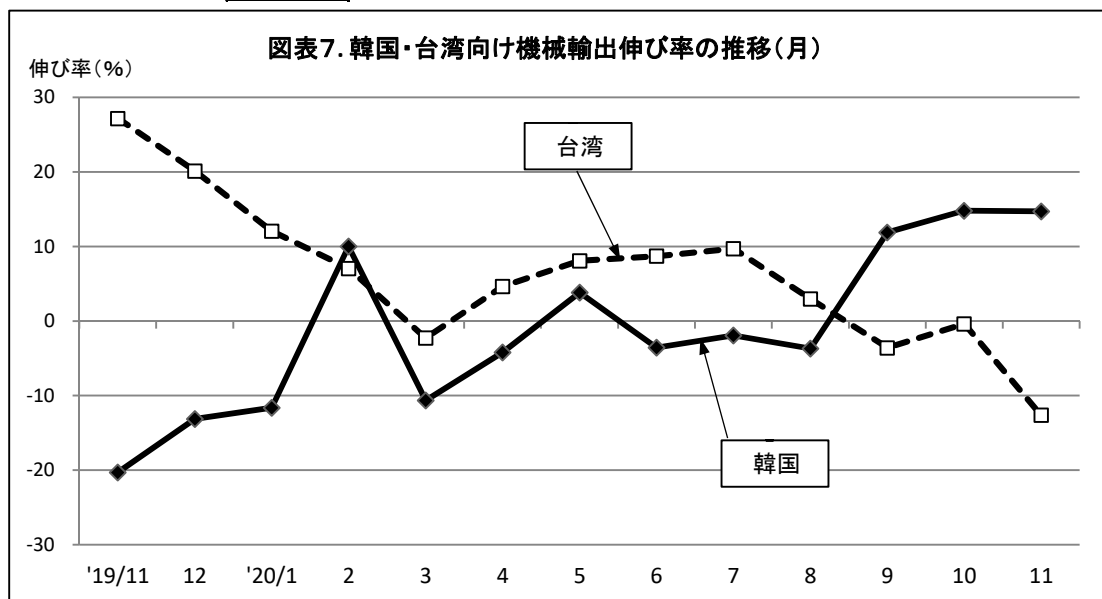


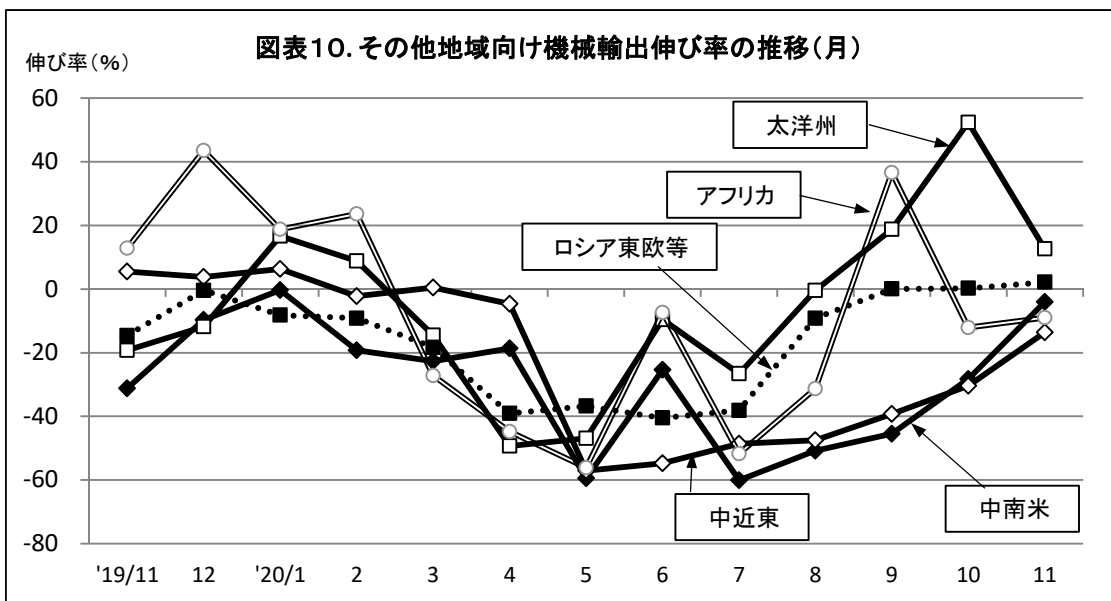
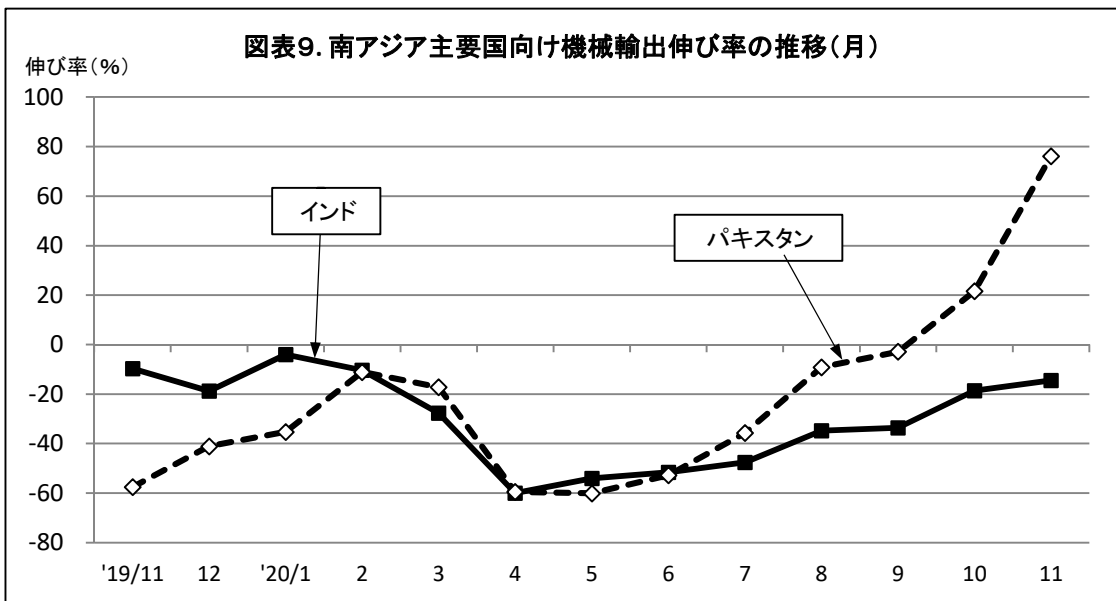
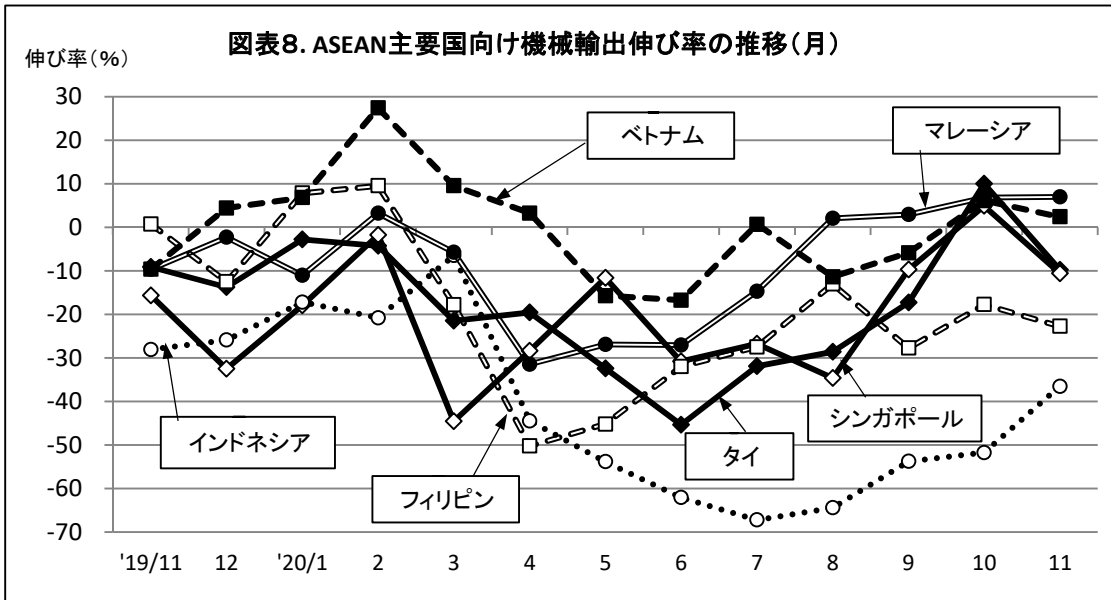
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(単位: 億円、%)

国名	2020/8		2020/9		2020/10		2020/11	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,748	▲ 3.7	1,917	11.9	1,869	14.8	1,807	14.7
台湾	2,006	3.0	2,218	▲ 3.6	2,339	▲ 0.4	2,224	▲ 12.6
ASEAN・南アジア								
タイ	1,159	▲ 28.6	1,350	▲ 17.3	1,744	10.0	1,476	▲ 9.8
シンガポール	534	▲ 34.6	781	▲ 9.7	918	4.9	851	▲ 10.6
インドネシア	267	▲ 64.4	403	▲ 53.7	374	▲ 51.7	425	▲ 36.5
マレーシア	597	2.0	650	3.0	709	6.9	688	7.0
フィリピン	477	▲ 13.0	510	▲ 27.7	541	▲ 17.7	510	▲ 22.7
ベトナム	738	▲ 11.4	843	▲ 5.9	942	6.1	841	2.4
インド	306	▲ 34.8	356	▲ 33.6	379	▲ 18.6	363	▲ 14.5
パキスタン	50	▲ 9.1	71	▲ 2.9	71	21.6	94	76.1
その他地域								
中南米	1,038	▲ 50.8	1,265	▲ 45.5	1,761	▲ 28.3	1,587	▲ 4.1
中近東	769	▲ 47.5	1,108	▲ 39.3	1,322	▲ 30.4	1,521	▲ 13.6
大洋州	1,065	▲ 0.4	1,299	18.8	1,659	52.4	1,240	12.7
ロシア東欧等	917	▲ 9.2	1,176	0.0	1,162	0.2	980	2.2
アフリカ	414	▲ 31.4	714	36.6	588	▲ 12.1	546	▲ 9.0

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中8業種が前年同月比で増加、そのうち2業種が二桁の増加～

- 1)業種別では、軽電気機械(6.4%増)をはじめ、8業種が前年同月比で増加し(10月は10業種が増加)、そのうち建設機械(25.1%増)、産業車両(24.0%増)の2業種が二桁の増加であった。機械全体では3.0%の減少となった。
- 2)前年同月比で減少した13業種のうち、二桁の減少となったのは、光学機械(16.7%減)はじめ、工作機械(22.3%減)、航空機部品(42.2%減)等6業種となり(10月は7業種)、一桁以下の減少にとどまったのは、自動車(3.4%減)、産業機械(1.5%減)はじめ7業種であった。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2020/9				2020/10				2020/11			
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア
自動車	13,872	▲ 2.6	36.1	自動車	15,207	2.7	36.1	自動車	14,280	▲ 3.4	36.3
産業機械	6,763	▲ 0.8	17.6	産業機械	7,371	1.9	17.5	産業機械	7,039	▲ 1.5	17.9
電子デバイス	3,741	3.3	9.7	電子デバイス	3,728	▲ 2.7	8.9	電子デバイス	3,403	▲ 3.7	8.6
軽電気機械	2,499	2.3	6.5	軽電気機械	2,837	14.0	6.7	軽電気機械	2,580	6.4	6.6
重電気機械	2,073	1.1	5.4	重電気機械	2,227	6.1	5.3	重電気機械	2,077	6.0	5.3
軽機械	1,476	▲ 10.0	3.8	軽機械	1,663	▲ 0.7	4.0	軽機械	1,537	▲ 6.9	3.9
民生用電子機械	1,463	1.7	3.8	民生用電子機械	1,560	11.2	3.7	民生用電子機械	1,526	8.0	3.9
光学機械	1,047	▲ 6.2	2.7	船舶	1,290	▲ 29.1	3.1	船舶	1,072	▲ 4.2	2.7
船舶	891	▲ 43.7	2.3	光学機械	1,138	▲ 2.1	2.7	光学機械	1,019	▲ 16.7	2.6
建設機械	845	▲ 19.2	2.2	建設機械	953	▲ 16.0	2.3	建設機械	918	25.1	2.3
工作機械	510	▲ 23.8	1.3	医療機械	528	5.9	1.3	医療機械	545	▲ 4.4	1.4
医療機械	485	0.1	1.3	工作機械	490	▲ 18.1	1.2	工作機械	486	▲ 22.3	1.2
航空機部品	443	▲ 42.9	1.2	航空機部品	453	▲ 43.6	1.1	航空機部品	424	▲ 42.2	1.1
通信機械	404	▲ 10.9	1.1	通信機械	430	▲ 6.4	1.0	通信機械	419	▲ 9.5	1.1
電子計算機	366	▲ 8.3	1.0	電子計算機	403	4.6	1.0	電子計算機	416	0.3	1.1
陸用内燃機関	338	▲ 10.5	0.9	陸用内燃機関	389	7.0	0.9	陸用内燃機関	374	2.6	0.9
ベアリング	300	▲ 20.1	0.8	ベアリング	341	▲ 13.6	0.8	ベアリング	314	▲ 18.7	0.8
農業機械	212	10.3	0.6	農業機械	207	4.8	0.5	農業機械	216	4.2	0.5
繊維機械	158	▲ 14.6	0.4	繊維機械	155	▲ 17.5	0.4	繊維機械	128	▲ 30.6	0.3
産業車両	78	▲ 25.3	0.2	産業車両	100	▲ 12.2	0.2	産業車両	92	24.0	0.2
鉄道車両	59	55.3	0.2	鉄道車両	63	37.3	0.2	鉄道車両	13	▲ 58.6	0.0
21業種合計	38,025		98.8	21業種合計	41,534		98.7	21業種合計	38,878		98.8

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～建設機械、産業用ロボット等が大幅増加、鉄道車両、航空機部品等が大幅減少～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位10機種は、①北米、EU、その他地域向け**建設機械**(25.1%増)、②中国、北米、EU向け**産業用ロボット**(25.1%増)、③北米、ASEAN・南アジア向け**原動力機械**(24.1%増)、④その他地域、ASEAN・南アジア向け**産業車両**(24.0%増)、⑤中国向け**通信機械部分品**(21.8%増)、⑥北米、中国向け**電動機**(21.2%増)、⑦北米・EU向け**白物家電**(17.1%増)、⑧中国向け**コンデンサー等部分品**(11.2%増)、⑨北米、中国向け**電池**(10.8%増)、⑩北米、中国向け**デジカメ・ビデオ**(10.1%増)であった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、鉄道車両(58.6%減)、航空機部品(42.2%減)、繊維機械(30.6%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2020/9			2020/10			2020/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	59	55.3	鉄道車両	63	37.3	建設機械	918	25.1
電気・電子計測器	457	18.2	原動力機械	373	24.9	産業用ロボット	165	25.1
半導体製造装置	2,229	16.3	電気・電子計測器	517	24.0	原動力機械	360	24.1
電動機	214	15.0	電池	665	22.2	産業車両	92	24.0
農業機械	212	10.3	デジカメ・ビデオ	318	21.2	通信機械部分品	159	21.8
機種合計	3,171	* 8.2%	電動機	237	14.6	電動機	226	21.2
			コンデンサー等部分品	1,000	14.2	白物家電	310	17.1
			白物家電	322	13.8	コンデンサー等部分品	948	11.2
			通信機械部分品	158	13.6	電池	570	10.8
			その他の重電気機器・部分品	492	13.3	デジカメ・ビデオ	320	10.1
			機種合計	4,145	* 9.9%	機種合計	4,069	* 10.0%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2020/9			2020/10			2020/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
携帯電話	14	▲ 45.0	航空機部品	453	▲ 43.6	鉄道車両	13	▲ 58.6
船舶	891	▲ 43.7	金属加工機械	202	▲ 29.3	航空機部品	424	▲ 42.2
航空機部品	443	▲ 42.9	船舶	1,290	▲ 29.1	繊維機械	128	▲ 30.6
時計	62	▲ 30.6	受信変換その他送受信機器	87	▲ 23.1	工作機械	486	▲ 22.3
金属加工機械	180	▲ 26.8	工作機械	490	▲ 18.1	ベアリング	314	▲ 18.7
発電機	75	▲ 25.8	繊維機械	155	▲ 17.5	金属加工機械	191	▲ 18.5
産業車両	78	▲ 25.3	時計	72	▲ 16.6	その他の光学機器	850	▲ 17.9
写真機の部分品・附属品	83	▲ 23.9	建設機械	953	▲ 16.0	携帯電話	17	▲ 15.2
工作機械	510	▲ 23.8	発電機	58	▲ 14.1	受信変換その他送受信機器	95	▲ 14.1
ベアリング	300	▲ 20.1	磁気カード・ディスク等	98	▲ 13.7	時計	76	▲ 11.7
機種合計	2,636	* 6.9%	機種合計	3,858	* 9.2%	機種合計	2,594	* 6.4%

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～上位12機種のうち携帯電話をはじめ9機種が前年同月比で増加～

- 1) 11月の機械輸入伸び率は3.1%増と14ヶ月ぶりに増加した。上位12機種のうち携帯電話(67.7%増)、電子計算機(12.3%増)、電子デバイス(4.3%増)等9機種が前年同月に比べて増加し(10月は6機種が前年同月比で増加)、そのうち携帯電話、電子計算機、白物家電(10.1%増)等6機種が二桁の増加であった。減少したのは、自動車部品(11.4%減)、乗用車(25.3%減)、航空機・部品等(34.9%減)の3機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に携帯電話、電子計算機、白物家電、受信変換その他送受信機器、医療機械、航空機・部品等、配電機器、TV、時計、通信機械部分品、発電機、鉄道車両の12機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、金額順に全体の46%を占める中国(16.0%増)、ASEAN・南アジア(10.3%増)、韓国・台湾(0.7%減)、EU(22.1%減)、北米(11.2%減)、その他地域(0.6%減)であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2020/9			2020/10			2020/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電子デバイス	2,115	▲ 14.1	電子デバイス	2,219	▲ 3.0	携帯電話	2,813	67.7
電子計算機	2,110	8.0	電子計算機	2,094	7.1	電子計算機	2,236	12.3
乗用車	1,096	▲ 7.6	携帯電話	1,866	▲ 14.2	電子デバイス	2,078	4.3
自動車部品	841	▲ 24.3	乗用車	940	▲ 9.4	自動車部品	971	▲ 11.4
受信変換その他送受信	772	9.2	自動車部品	940	▲ 14.9	乗用車	897	▲ 25.3
携帯電話	697	▲ 63.5	受信変換その他送受信	803	17.3	白物家電	815	10.1
白物家電	685	8.4	白物家電	724	8.1	受信変換その他送受信	804	14.2
医療機械	663	▲ 10.9	医療機械	663	▲ 10.8	医療機械	699	2.0
航空機・部品等	650	▲ 41.0	配電機器	610	2.5	航空機・部品等	668	▲ 34.9
配電機器	560	▲ 4.9	航空機・部品等	570	▲ 63.6	配電機器	662	10.6
コンデンサー等部分品	386	▲ 7.3	コンデンサー等部分品	473	14.8	コンデンサー等部分品	482	17.3
TV	342	23.9	半導体製造装置	449	35.9	その他の配電制御装置	383	5.8
12機種合計	10,917		12機種合計	12,351		12機種合計	13,508	

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。

・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等